

テーマ別パスファインダー



研究テーマのを見つけ方

日本語教育編



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2019年7月16日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ 研究テーマの見つけ方 日本語教育編 とは？

このパスファインダーは、日本語教育関連分野で卒業論文や、修士課程への研究計画書を書こうとする人が、研究テーマを見つけるのを手助けするものです。このパスファインダーに書かれていることは、日本語教育分野でも特定のジャンルに偏っていますが、ある程度の普遍性を持ち合わせるように書きました。みなさんの研究活動の一助になれば幸いです。

関係分野：日本語教育学、日本語学、第二言語習得理論、社会言語学

II. 研究/論文とはそもそもなにか

酒井(2010)は、論文には以下の3つが必要だとしています。

酒井聡樹(2010)『これから論文を書く若者のために』共立出版 (p. 03)

- ①未解決の問題に取り組んでいる
- ②その問題の解決を多くの人が望んでいる
- ③その問題の解決に、何らかの新しい貢献をしている

特に「研究」の場合、最もこの3つの中でウエイトが重いのは①です。というのも、仮にもしあなたがテーマを設定した際に、あなた自身が面白いと感じるのであれば、(多くの人ではないかもしれませんが)ある程度の数の人が同じような面白さ(=問題の解決)を望んでいると考えられます。そして、たとえ研究が失敗したとしても、失敗という形で③何らかの新しい貢献ができるわけです。という事は、最もウエイトが重いのはやはり①という事になります。

III. テーマ(=未解決の問題)はどこから見つけるのか

まず、学問の神様がある日降りてきて「あなたはこのテーマで書きなさい」と言ってくれることはまず無いという事です。また、指導教員もあなたにテーマを押し付けることは出来ません。興味のない研究は続かないからです。つまり、テーマは待っていても現れるものではなく、自ら意識的に探す必要があります。

そして、テーマ、すなわち①未解決の問題で、かつ②自分にとって(そして他人にとっても)面白いを見つけようとする場合、特に大切なのは「いくつかの候補を持っておいて、そこから未解決のものを選ぶ」というような態度を持つことです。図であらわすを以下ようになります。

- データ 1 → アイデア 1、2、3、4 → 調べる → 解決済み
データ 2 → アイデア 1、2、3、4 → 調べる → 出来そうかも → これ!
データ 3 → アイデア 1、2、3、4 → 調べる → 不可能
データ 4 → アイデア 1、2、3、4 → 調べる → 些末で面白くない

さて、「データ」と書きましたが、ここではテーブルやパイチャートのことではなく、言語データのことです。日本語教育の中で、「学習」に興味があるなら、教科書や学習者が産出したデータ（書いたものや書かれているもの、発話されたものの録画・録音）ということになりますし、日本語母語話者の発話に興味がある場合は、SNS での投稿や、ブログ、新聞、会話の録音・録画など、いろいろなものがデータになりえます。

友達との会話、 家族との雑談、 テレビ、 YouTube ビデオ、 字幕、 映画、 本、 論文、 論文の参考文献のタイトル、 エッセイ、 学習者との会話、 学習者の作文、 学習者の誤用、 教科書の記述、 新聞記事、 録音・録画、 授業の録音・録画、 授業中の会話、 準備中の疑問、 同僚教師とのやり取り などなど…

あとは、その「データ」に対して「なぜ」という問いを常にぶつける態度が必要です。それがテーマの「種」になります。例えば次の LINE の会話を見てください。この話し手はコーヒーに練乳を入れるとおいしいと聞いて練乳を買いにいったときの「語り」を行っています。ここから5つの研究の「種」を見つけることができますが、どうでしょうか。1分ぐらい考えてみてください。

練乳入れるって聞いたら、それで飲んでみたくなって、スーパー買いに行ったけど、どこにあるかわからなくて、おばちゃん店員に「練乳ってありますか？」って聞いたら、「何ですか？」って聞かれたから、もう一回聞いたんやけど、真顔のまま全く反応なくて、その後も3回くらい聞いたけど、全然反応なくて、怖くなって…。笑
日本語わからんのかな？って思ったけど、「コンデンスミルク…」って言ったら、わかったらしく、「こちらです」って案内された。笑
いやいや、すみませんとか、他に反応せーやって思ってしまった。
真顔の時間長すぎて時間が止まったかと思ったわ。笑
その店員さん、普通に日本の名字の名札つけとった。笑

市民、謎多い。

例えば、①「怖くなって…。笑」で初めて「句点」がやってきます。それまでこの文は1文ですね。長いですが。LINE ではこれは普通なのか？と問うことで、研究テーマの種になります（ただし、研究するかどうかはまた別問題です）。他にも、②練乳-コンデンスミルク（外来語問題）も気になりますし、③「言語的な反応-非言語的な表情」の問題も気になります。それから④「真顔-時間が長い-外国人？」というところから、表情が教科書でどう扱われているかの方向に持って行くこともできます。⑤結論部分と一行開いているのも不思議です。ここで示したものの他にもあるでしょう。

さて、このようにいくつかアイデアが生まれたら、後は図書館で調べるだけです。上の④であれば、「表情 日本語教育」で検索して、論文や本などを漁ると、それが未解決かどうか、解決され残したことがないかを明らかにすることができます。図書館等の資料検索に困ったら LS や指導教員、図書館の職員に相談してみてください。

IV. 質的アプローチが有効か、量的アプローチが有効か

そういえば、大学の先生って人によって同じ現象に対して言っていることが違ったりしませんか?それはテーマに対するアプローチの仕方が違うからです。いわゆる「研究方法」ですね。あなたのテーマが決まったら次にすることは研究方法の選定です。すでに研究方法が決まっている場合は、次の V 章まで飛ばしても構いません。

ここで知っていただきたいことは、テーマによって、A.質的アプローチを取るか、B.量的アプローチを取るか、が変わってくるという事です。

A の質的アプローチをごく簡単に説明すると、少数の(と言ってもある程度説得力のある)データを丹念に見ていく方法です。一般化しにくい代わりに、細かい現象に気づくことができます。

B の量的アプローチをごく簡単に説明すると、大量のデータを数値等を使って測定します。一般化しやすい反面、細かい現象が見落とされてしまいます。

これはテーマによってどちらの方法を取るかが決まってきます。傾向を見たいのであれば B でしょうし、インタビュー調査を 5 名に行うなら A になるでしょう。基本的には指導教員がそれぞれ得意とするアプローチを模倣するのが最も助けを借りることのできる方法ですが、そうでない場合はきちんとバックグラウンドを確認しておく必要があります。入門書等を参考にして、その分野でどのようなアプローチが使われているかを確認するといいでしょう。

先ほど見た④の「教科書での表情」問題だと、たくさんの教科書を見る必要がありますので、B のアプローチがより近いように思います。が、もちろん詳細に分析するのであれば、A の視点も必要になるので、そういう意味では A と B を掛け合わせた「混合研究法 mixed method」も選択肢に入ってきます。必ずしもどちらかを選択する必要はありません。

V. ダウンサイズは出来ているか

研究テーマについて最後に行うのは、「ダウンサイズ」です。基本的に、研究テーマは「広くなる」傾向があります。例えば先ほどの④「教科書での表情」問題だと、やりがちなのは

- ① 日本語の教科書で表情はどのように扱われているのか
- ② 日本語の教科書における表情の研究

などにしてしまうことです。これは残念ながら「広すぎます」。むしろライフワーク的なにおいすらします。ではどうすればいいのか。これもテーマによりますが、それぞれの言葉を細かく砕けないか見てください。

日本語の教科書 → 初級?中級?上級? 会話教材? 総合教科書? 読解教科書? オンライン教材?
表情 → 喜?怒?哀?楽? 感情も含む? 声色 (timbre)は含む? 今導入されてる?
どのように → 頻度? 媒体? トピック?

さらに、「機材」「予算」「期間は足りるか?」などの実行可能性を加味します。すると、いくつかダウンサイズされた候補ができます。

- ①日本語の読解教科書で感情はどのようなトピックで扱われているのか
- ②日本語の会話教科書で「怒る」ことはできるか
- ③日本語の初級教科書で「表情」を導入すべきトピックはなにか

もし指導教員と候補について相談する場合は、このようにダウンサイズした候補をいくつかリストにして持って行くと、「これならいけそう」、「これは広すぎ」、「これはダメ」などのアドバイスを受けることができます。大学教員は研究を重ねているプロなので、題目を見ればそれがどのような結論に至りそうかまで見分けることができます。ご自身でその見極めが出来ない場合は、頼るといいと思います。

さて、最後にひとこと。これまでⅡからⅤまで順を追ってみてきましたが、この順番に進行することはまれだという事です。なので、ある箇所が上手くいかなかったからといって、悲観することはありません。また戻って考え直せばいいのです。研究は直線的ではなく、軌道修正を行いながららせん状に飛ぶロケットのようなものです。やれば確実に前に進みます。皆さんの研究を楽しみにしています。ぜひLSにも相談しに来てください!

【関連書籍】

※このるくばすを作成するために参照した書籍の一部です。興味があれば見てください。

書籍名/著者	配架場所	請求記号
外国語教育研究ハンドブック：研究手法のより良い理解のために / 竹内理, 水本篤編著	外国図-4 階開架	807 682
質的研究入門：「人間の科学」のための方法論 / ウヴェ・フリック著；小田博志 [ほか] 訳	外国図-4 階開架	301 177
外国語教育学のための質問紙調査入門：作成・実施・データ処理 / ゴルタン・ドルニエイ著；八島智子, 竹内理監訳	外国図-4 階開架	807 633
日本語教育のための質的研究入門：学習・教師・教室をいかに描くか / 舘岡洋子編	外国図-4 階開架	810.7 782
日本語教育学としてのライフストーリー：語りを聞き、書くということ / 三代純平編	外国図-4 階開架	810.7 746
「ネイティブ」とよばれる日本語教師：海外で教える母語話者日本語教師の資質を問う / 平畑奈美著	外国図-4 階開架	810.7 694
学のデザイン：日本語教育 / 神吉宇一編著；名嶋義直 [ほか] 著	外国図-4 階開架	810.7 738
方法としてのフィールドノート：現地取材から物語（ストーリー）作成まで / R.M.エマーソン, R.I.フレッツ, L.L.ショウ著；佐藤郁哉, 好井裕明, 山田富秋訳	外国図-4 階開架	380.7 1
問い続ける教師：教育の哲学×教師の哲学 / 多賀一郎, 苫野一徳著	外国図-4 階開架	374.3 35

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。